

## 道徳指導展開案（略案）

室根村立折壁小学校 大 竹 博 行

- 1 日 時 平成15年9月25日（木）5校時
- 2 対 象 室根村立折壁小学校 第5学年 1学級（男11名 女10名 計21名）
- 3 主題名 働くことの喜び 「4－（4）勤労・奉仕」
- 4 資料名 牛乳配り （出典 5年生の道徳 文溪堂）
- 5 ねらい みんなのために自分ができることを考えて行う楽しさや認められる喜びに気づき、進んでみんなのために役に立とうとする意欲を育てる。

### 6 展開案

| 段階 | 学習活動と主な発問  | 予想される児童の反応   | 指導上の留意点   |
|----|--|--|---|
| 導入 | <p>1. 本時の学習に興味・関心をもつ。</p> <p>○ グラフを見て感じたことを発表しましょう。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いい加減な気持ちのときがあることが分かる。</li> <li>・ 頑張っていて取り組んでいることも分かる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心のアルバム②を基にしたグラフから、自分たちの取り組みの意識の状況をとらえて、本時の学習への興味・関心をもたせる。</li> </ul>   |
| 展開 | <p>2. 資料「牛乳配り」を読んで、明がどんなことを考えたか話し合う。</p> <p>○ 牛乳配りをやり始めた頃の明はどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>○ やめたいと思いつつも牛乳配りを続ける明。でも、家に帰ってあせをふき、シャツを取りかえると、さっぱりした気分になったのは、どうしてでしょう。</p> <p>○ おばあさんの手紙を読み返したときの明は、どんな気持ちになっていたでしょう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面倒だなあ。</li> <li>・ はずかしいなあ。</li> <li>・ どうしてぼくがやらなきゃいけないの。</li> <li>・ やるだけ自分が損しているみたいだ。</li> <li>・ 仕方がないからやっていた。</li> <li>・ やっと終わったあと安心したから。</li> <li>・ もやもやした気持ちがなくなっていく、気持ちのよさを感じたから。</li> <li>・ 働いたあとの気持ちよさを感じてきたから。</li> <li>・ おばあさんありがとう。続けてきてよかったと思っている。</li> <li>・ 牛乳だけではなく大切なものも配達していたことに気付いた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いやいやながら仕事を始めたため働くことの大切さを感じていない明に共感させるとともに、誰でも心の中に同じような気持ちがあることに気付かせる。</li> <li>・ 仕事をやり終えたときの自分の体験と重ね合わせて、明の気持ちの変化に気付かせる。</li> <li>・ 明の喜びとおばあさんの喜びがあることに気付かせる。</li> <li>・ 始めた頃の気持ちと対比させながら考えさせ</li> </ul> |

|       |   |   |  |
|-------|---|---|--|
| 展開    | 心<br>に  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までよりも続けたい気持ちが強くなっている。</li> </ul>   | る。   |
| ひびく   | <p>3. 学んだ道徳的価値と自分の体験を重ね合わせて、今までの自分の生き方や考え方に気付く。</p> <p>○ 今までの自分は、仕事や手伝いなどをどのような気持ちで取り組んでいたか考えて、気付いたことを書きましょう。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなことだったら喜んでやっていた自分に気付く。</li> <li>・頼まれたことはいいやいやながらやっていた自分に気付く。</li> <li>・仕事や手伝いをやらなければと思っても、そのときの自分の気持ちに左右されていた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・考える観点として、対象、行為、気持ちをはっきりとさせる。</li> </ul>  |
|       | <p>4. 自分の考えと他の人の考えを比較し、お互いのよさや可能性に気付く。</p> <p>○ ペアで書いたものを発表しましょう。</p> <p>○ 次のような点に気を付けてくべながら聞きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えが似ているところ</li> <li>・考えが違っているところ</li> <li>・考えが違って共感するところ</li> </ul> <p>○ ペアの話し合いで気付いた考えのよさを発表し合いましょう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの自分のとってきた態度から、同じようなことが他の人にもあることに気付く。</li> <li>・他の人の考えから、自分が気付かなかったことに気付く。</li> <li>・自分や他の人の考えのよさに気付く。</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの考えを批判し合うのではなく、自分や他の人のよさを理解し合うことを目的とするため、聞く観点を示す。</li> <li>・個人の心にひびいたことを全体で共有する。</li> </ul> |
| 心をつめる | <p>5. よりよい生き方を指すことについて、これからの自分の思いをまとめる。</p> <p>○ 仕事や手伝いなどをするとき、これからの自分にとって大切なことと感じたことを書きましょう。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流する活動で新たに感じたことや考えたことを基にして具体的な場面や行為、そのときの気持ちについて自分なりの考えをまとめる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい生き方を指すことについて、自分の心をつめさせる。</li> </ul>  |
| 終末    | <p>6. 本時のまとめをする。</p> <p>○ 心のノート p.85を開いて、心の中で声に出して読みましょう。</p>   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・心のノート p.85「自分もよし 相手もよし そして社会もよい」の言葉でしめくくり、自分の心を見つめさせる。</li> </ul>                              |